

丹波市立 ^{みのり} 農の学校 2019年4月開校!

実践+座学の充実プログラム

農の学校は、新規就農を目指す方が農業栽培技術・農業経営・農業文化等を学び、自ら実践することができる全日制の農業学校です。

(公式WEB：<http://agri-innovation.jp/minori/>)

◇「農の学校」カリキュラム

2019年4月～2020年3月

座学講座 184時間

栽培実習・実践 960時間

視察・現地研修 72時間

日本農業技術検定2級受検

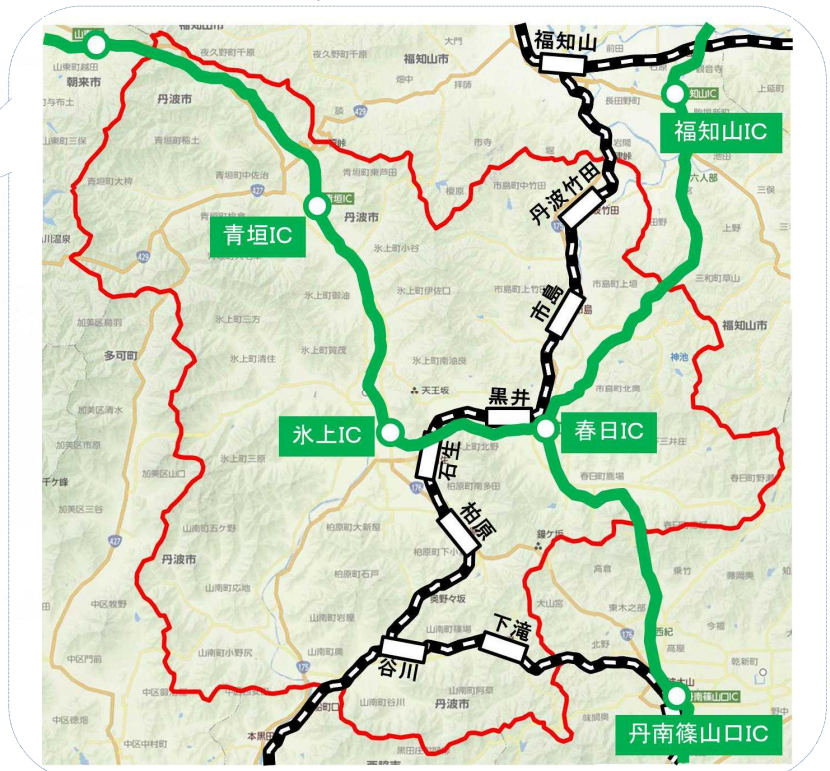
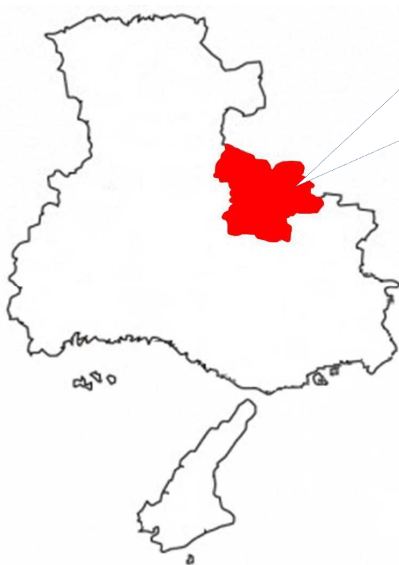
課外：マスター農家での短期研修(2～3週間程度)



1. 丹波市はこんなところ

丹波市は兵庫県の中央部の東側です。舞鶴若狭自動車道、豊岡自動車道が、JRは福知山線と加古川線が市内を通り、京阪神からは自動車、JRのいずれでも1時間半から2時間圏内です。

気候は、瀬戸内海型気候と日本海型気候の中間で、年間の寒暖差、昼夜間の温度格差が大きく、秋から冬にかけて「丹波霧」が発生し、これらの気候は多くの丹波市ブランドの特産物を育むひとつになっています。



2. 丹波市の特産物

(1) 丹波大納言小豆

小豆の中でも粒の大きい品種が「大納言小豆」と呼ばれていますが、中でも丹波市が発祥と言われる「丹波大納言小豆」は、「俵型で皮が薄い」「大粒で煮てもくずれにくい」「光沢が美しい」などの特長があり、高級和菓子にも使われています。

毎年“丹波大納言小豆ぜんざいフェア”が開催されています。(11月～)

※主催:丹波大納言小豆ブランド戦略会議



全国に誇る丹波市の宝物(特産物)を丹波三宝と名付けています。

(2) 丹波黒大豆

今や全国ブランドとなった「丹波黒大豆」は、正月用の黒豆の他、枝豆用としても、丹波市内で多く生産されています。



全国に誇る丹波市の宝物丹波三宝の一つです。

(3) 丹波栗

日本書紀に記述のある歴史の深い「丹波栗」は、丹波市の気候風土と熟練の栽培技術により実が非常に大きく、甘い味に育ち、最高級の栗として流通されています。



全国に誇る丹波市の宝物丹波三宝の一つです。

(4) その他

県の野菜指定産地にもなっている丹波山の芋、スイートコーン、ナスや、小菊、若松、ヤブサンザシなどの花卉類、ブルーベリーなどの果樹類、セネガ、トウキなどの薬草類、最近では黒ごま、にんにく、アジサイなど、市内全域で特色ある特産物が生産されています。



3. 丹波市での農業経営モデル

(1) 水田農業経営（水稲＋特産物）

水稲と各種の特産物を組み合わせた経営です。

《経営規模の例》

水稲 3.0ha、小豆 1.0ha、黒大豆 1.0ha、黒大豆枝豆(莢)0.5ha

《売上額の目安》

水稲：480kg/10a×230円/kg=110,400円/10a

小豆：150kg/10a×1,400円/kg=210,000円/10a

黒大豆：100kg/10a×1,500円/kg=150,000円/10a

枝豆：600kg/10a×1,000円/kg=600,000円/10a

(2) 施設園芸経営

ビニールハウスによる野菜栽培を中心とした経営です。個人での直売、地元の直売所や市場出荷など、いちご狩りをしている農家もあります。又、大規模にベビーリーフを栽培している企業農家もあります。

《経営規模の例》

ビニールハウス 2,000 m²

半促トマト 0.1ha、促成いちご 0.1ha、抑制きゅうり 0.08ha

《売上額の目安》

トマト：8,000kg/10a×240円/kg=1,920,000円/10a

いちご：2,500kg/10a×1,060円/kg=2,650,000円/10a

きゅうり：5,000kg/10a×230円/kg=1,150,000円/10a

(3) 有機農業経営

丹波市の有機農業は歴史と実績があります。水稲と野菜を中心とした有機農業による経営です。

一例ですが、家族2名＋繁忙期雇用で、業者や個人消費者へ出荷し、年間1,000万円の売上げを上げている農家もいます。

4. 丹波市で受けられる新規就農者への支援施策

(1) 家賃の一部を助成します

①新規就農者（新規就農者等育成支援事業認定者のみ）が新たに戸建または集合住宅を借りた時に、家賃の一部を12ヵ月間、市から助成します。

（戸建住宅：家賃の2分の1以内、月額上限4万円）

集合住宅：家賃の3分の1以内、月額上限2万円）

②認定新規就農者に認定された方が、新たに居住するための戸建住宅を借りた時に、家賃の一部を2年間、市から助成します。

（家賃の2分の1以内、月額上限4万円）

(2) 農業機械の購入代金の一部を助成します

認定新規就農者に認定された方が、農業機械を導入する時に購入費用の一部を市から助成します。

（購入費用の2分の1以内、上限助成額：60万円）

(3) ビニールハウス等の購入代金の一部を助成します

認定新規就農者に認定された新規就農者の方が、ビニールハウス等の農業施設を導入する時に、購入費用の一部を市から助成します。

(導入費用の2分の1以内、上限助成額：60万円)

※その他、国、県、農協等による支援事業もあります。詳細はお問い合わせ下さい。

※助成事業には実施要件があります。詳細はお問い合わせ下さい。

5. 生活・子育て面

(1) 住まいの支援

○住宅の売却・賃借情報「丹波市空き家バンク（住まいるバンク）」

<http://teiju.info./smilebank/> をチェック！

○U・Iターン者が住宅を新築、中古物件購入、改修するなどの場合に、購入費用の一部を助成する制度があります。

- ・新築・中古物件購入費用の5%または10万円のうち低い額
- ・改修費用の10%または10万円のうち低い額

(2) 医療

市内には、県立柏原病院、柏原赤十字病院、医療法人敬愛会大塚病院の総合病院と、個人病院等を含め、40以上の医療機関があります。また、平日夜間や休日応急の診療所もあり、急な診察にも対応しています。

(3) 子育て

○保育所（園）、認定こども園は、市内に14施設あります。

○子育て中の保護者の学びの場「子育て学習センター」が市内に6ヶ所あります。

○放課後、自宅での保育が困難なご家庭への子育て支援施設「アフタースクール」が市内に23ヶ所あります。

○幅広い年齢の子どもたちの遊び・学ぶ場「児童館」が市内に1ヶ所あります。

○子育てを通じて行われる会員同士の助け合いや生きがいをづくりの「ファミリーサポートセンター」が市内に2ヶ所あります。

(4) 観光、レジャー、余暇の過ごし方

市内には、丹波竜発掘現場・工房、日本一標高が低い分水嶺「水分かれ公園」、雲海に浮く黒井城跡、などの観光スポットがあります。また、紅葉巡りや秋の味覚を中心にイベントが多数開催され、特産の薬草風呂を楽しめる温泉施設もあります。

レジャーでは、市内の青垣町にはパラグライダーの基地があり、初心者から体験を楽しめます。また、「女子の甲子園」とも言われる、全国高等学校女子硬式野球選手権大会が市内のスポーツピアいちじまと春日スタジアムで開催されています。

【連絡先】

丹波市役所 農業振興課

〒669-4192 丹波市春日町黒井 811

電話 0795-74-1465 FAX 0795-74-1055

メール nou_shinkou@city.tamba.lg.jp